

ほけんだより 10月号

2022 社会福祉法人
雫石保育園 保健室



4

青空に赤とんぼが飛びすっかり秋らしくなってきました。先生と一緒に虫取りをしたり、黙々とお砂遊びをしたり思い思いに遊びを満喫している子供たちからはエネルギーが満ち溢れています。

たくさん遊ぶことは良い睡眠につながります。台風のシーズンですが、晴れを有効に利用して強い体を作しましょう。



10月の乳幼児健康診査

- 7日(金) 乳幼児健康診査
- 12日(水) 3歳6か月児健診
- 21日(金) ことばの相談
- 26日(水) 赤ちゃん相談

詳しくは広報しずくいしで確認のうえ
お出かけください。



コロナウイルス感染症について現在お知らせできること

<症状>

発熱、乾いた咳が見られます。子どもは正確に症状を伝えられないこともあります。感染しやすさは成人と変わりありません。家庭内で感染している例が多いようです。成人と同じように発熱に続き、肺炎になる例も報告されています。一部の症例では、嘔吐、腹痛や下痢などの消化器症状も認められています。

2歳未満の子どもは、比較的重症化しやすい傾向があり注意が必要です。

<病院受診のタイミング>

濃厚接触者(家族の中に感染していた人がいる場合など)や、健康観察対象者となった場合、発熱が続く、呼吸が苦しい、食事がとれない、ぐったりしているなどの症状が見られたら、医療機関に確認の上で、受診をしましょう。新型コロナウイルス感染症を疑って一般の医療機関や休日夜間急病診療所等を受診しても、診断を確定するための検査ができない可能性があります。受診前に医療機関に確認しましょう。(発熱から6時間以上経過してから検査することを勧めている病院もあるようです。)

<保育園における濃厚接触者とは・・・>

マスクをしていない状態が15分以上続いた場合

この場合は主に給食やおやつです。小学校のように黙食が難しい年齢です。一定方向をむいて食べることは、園のスペース的に難しいことをご理解いただけるとありがたいです。また、マスクをつけていても大人のように完全に鼻を覆うことが困難で、子どもの特性として密になって遊ぶことも多く、濃厚接触者の範囲が小学校より広く、曖昧になってしまっていることもご理解ください。(お昼寝は頭の位置を互い違いにしており、会話もないことから濃厚接触の定義からは外して考えます。)

<感染した場合の自宅療養期間>

陽性になった場合・症状が出た日を0日として、その翌日から7日間(検査した病院や保健所のメール等にしがたってください。)ただし、食欲がないなど体調がすぐれない場合は、登園を控えるようにしましょう。

濃厚接触者となった場合・感染者が発症した日を0日として、その翌日から5日間自宅療養となります。この間、体温など健康観察が必要な期間です。不要不急の外出を避けるようにしましょう。体調に変化があった場合は、接触者相談センターまたはかかりつけ医にご相談ください。

<家庭内で感染者が出た場合>

子どもさんは、濃厚接触者として、登園を控えることになります。登園に関しては、感染者の療養期間7日間を基準に保健所からのメール等で確認の上、園にもお知らせいただけると助かります。ご家庭内で微熱や風邪症状がある方がいる場合も登園を控えていただきたいです。症状のある5歳未満の子どもからの感染者からのウイルス排泄量が比較的多いことや、子どもは無症状者も少なくないことがわかってきました。周りの大人は、こまめな手洗いや、マスクの着用を徹底することが必要です。

この資料は日本小児科学会がまとめたものを参考資料と使用しています。
コロナウイルス感染症に関する対応は随時更新される可能性があります。

